

神戸赤十字病院

婦人科

指導担当医（役職）

佐藤 朝臣（婦人科部長）

実習概要

実習コース

2週間コース

概要

主治医と共に診療に参加します。主な入院症例は、良性腫瘍、子宮内膜症や子宮腺筋症、悪性腫瘍、骨盤臓器脱、感染症（骨盤腹膜炎や子宮付属器炎）等です。外来では、加えて性器出血、月経痛、月経不順などの診療にあたっています。毎日入院患者の診察を行い手術前後の経過、化学療法の実際と副作用について理解を深めてください。診断に至っていない症例では主治医と鑑別診断、行うべき検査、治療についてディスカッションを行います。また、実際に手術に参加してもらい、骨盤解剖に対する理解を深め、安全に対する配慮、手術手技について体験してください。

実習スケジュール

毎朝入院患者の診察を行い、病状を把握し、主治医とディスカッションを行います。

月曜・水曜

午前 外来診察に同席し、初診患者の問診を行い、診察結果から鑑別診断を挙げ、指導医とディスカッションを行います。

午後 入院患者の診察を行い、翌日の手術のシミュレーションを行います。

火曜・木曜・金曜 手術に参加して下さい。時間があれば、術後振り返りを行います。

学生へのメッセージ

基本として身につけるべき婦人科診察法として内診が重要ですが、近年では経膈超音波検査、コルポスコープ、子宮鏡検査等の重要性が増しており、外来診察の際には是非体験してみてください。治療においては、外科領域では切除範囲を縮小する傾向にある中、卵巣癌手術では、可及的に腫瘍を摘出することを目標に切除範囲が広がられており、手術をやってみたいと考えておられる方には、非常にやり甲斐のある分野です。また、一人の患者さんに対して術後化学療法等継続して携わることができます。婦人科の手術手技は、膈式手術、子宮鏡手術、腹腔鏡手術、開腹手術と多岐にわたります。実際に手術に参加してもらい、同じ臓器に対してもアプローチ方法の違いによって見える世界が異なること、安全性を担保しながら低侵襲を目指す手技について理解を深めて下さい。